

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ -その④2-

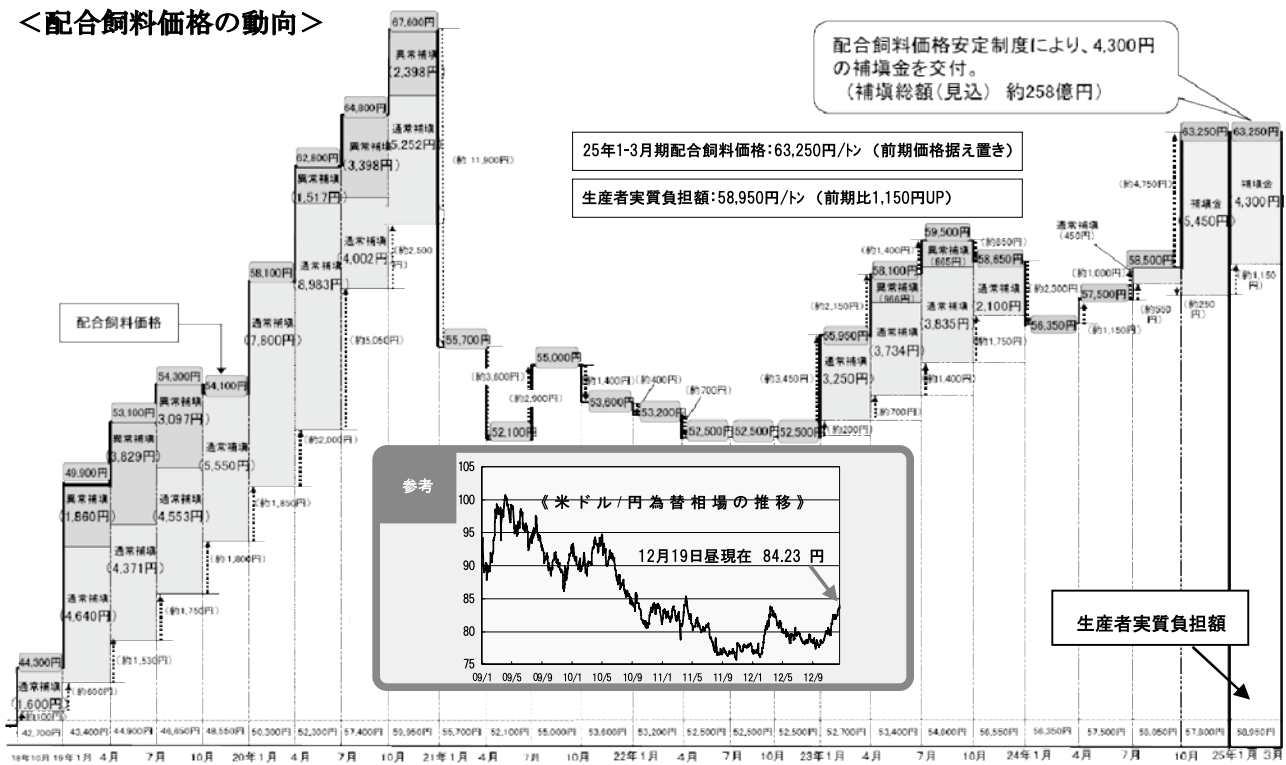
広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 穀物の国際価格と配合飼料価格の動向(24年12月)

米国の記録的な干ばつに起因する穀物価格の高騰により、10-12月期の配合飼料価格は大幅に上昇しましたが、25年1-3月期についても、価格据置きとなり、高値が続くこととなりました。配合飼料価格やその補てん金額の動向、穀物価格や為替相場の与える影響などについてとりまとめましたので、ご参考にしてください。

<配合飼料価格の動向>



<穀物の国際価格の動向、補てん金の動向>

- ・とうもろこし等の穀物価格は、現在、8～9月頃よりは低下基調にあるものの、円安進展の状況下で、25年1-3月期の配合飼料価格は、価格据え置きとなった。
- ・配合飼料価格安定事業の補てん金額は、異常補てん基金から通常補てん基金へ支援により、満額の4,300円/トを支給。ただし、前期の補てん金額(5,450円/ト)からは、1,150円/トの減額となり、生産者実質負担額は、前期の57,800円から58,950円に増加。
- ・とうもろこしの生産量は、世界全体では前年度を下回る見込み。また、為替も円安の基調で推移すると、次期(25年4-6月)の配合飼料価格についても大きく下がる要因は少ない。
- ・仮に次期(25年4-6月)配合飼料価格が今期同額となった場合、補てん金は約2,600円/トとなり、生産者実質負担額はさらに増加が見込まれる。

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。
⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1-2-22 広島トランヴェールビルディング 6階
TEL: 082-249-9152 FAX: 082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(2月は6日と20日)

庄原相談窓口(2月は7日と21日)

福山相談窓口(2月は8日)

場所: 三次農業協同組合本店

場所: 庄原農業協同組合本店

場所: 日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。

BOSSシステムで最適な交配を簡単検索!

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年も何卒よろしくお祈りします。今回は、前回の記事でも触れさせていただきました、「BOSSシステム」について紹介したいと思います。

BOSSシステムとは?

「BOSS」は「Best Operation of Sire Selection」の略であり、「雌牛に最も適した種雄牛の選定」という意味で、文字通り酪農家の皆様の所有する雌牛に対して近交係数を考慮しながら、効率良く能力、体型等、皆様の改良目標に合った最適な種雄牛を選定するシステムです。

BOSSシステムの

利用にあたって

- ① 利用に当たっては、**同意書**が必要になります。
- ② 牛群検定データから推定された雌牛の育種価を利用するため、**牛群検定加入農家**が対象です。
- ③ **国産種雄牛**が選定の対象となります。
- ④ 未経産牛(後代検定牛)でも牛群検定に加入していれば選定できます。
- ⑤ 無料でご利用できます。

図1

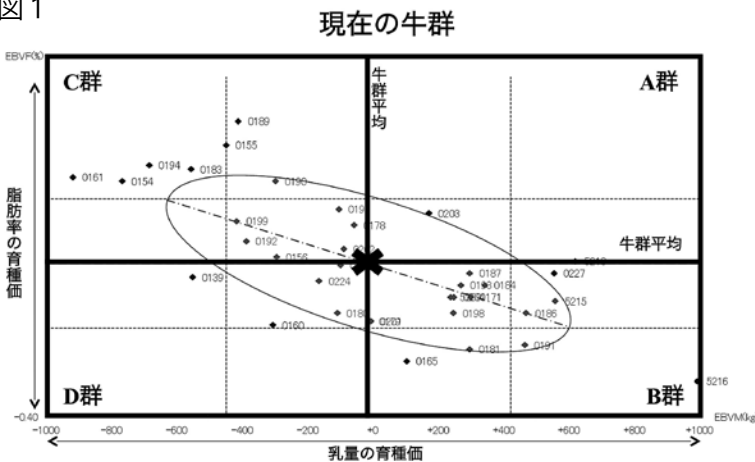
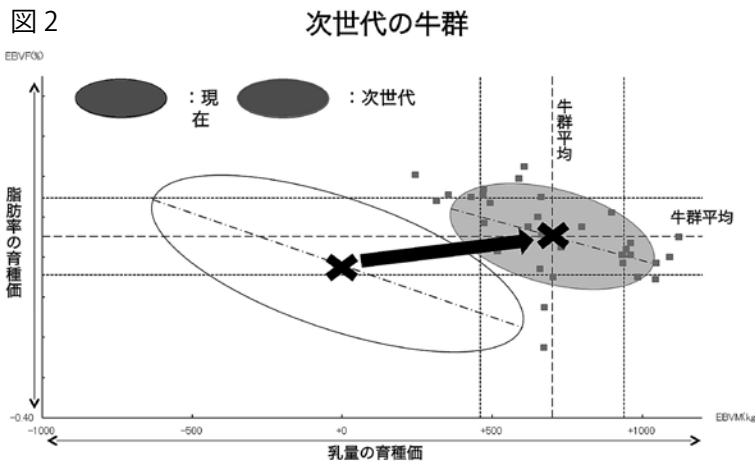


図2



「最近の種雄牛は種類も多く、更に似たような血統も多くなってきたことにより近交も気になる」、「自分の牛群にはどの種雄牛が合うのだろう?」等、種雄牛の選定に悩んでいる方は「BOSSシステム」をお試しになりませんか?
申し込みは簡単! 「乳用牛改良関係情報に係る同意書」に必要事項(氏名、住所、検定コード、捺印またはサイン)を記入するだけです! 皆様のご相談をお待ちしております。

ご利用までの手順とポイント

- ① 同意書に記入の上、家畜改良事業団又は、広酪に提出してください。
- ② 申し込みの際に、あなたの改良目標(例: 乳量を増やしたい、蛋白率を上げたい、肢蹄を良くしたい、乳器を改良したい等)を教えてください。
- ③ 牛群検定データから、図1の様に現在の雌牛群を四群(乳量の平均と、F%またはP%の平均)に分けます。四群に分けることにより、現在の牛群の特徴(育種価)が明確になります。
- ④ 補完的交配により、それぞれの群に適した種雄牛を選び、乳量を増やしたい、蛋白率を上げたい、肢蹄を良くしたい、乳器を改良したい等を教えてください。
- ⑤ その次世代(交配した父母の子)の推定育種価を計算し、図2の様にグラフ化され、次世代の牛群がどの程度改良が進むかイメージし易くなります。
- ⑥ 未経産牛も、牛群検定に加入していれば計算されます。
- ⑦ 産次ごとの育種価の推移もグラフで比較できるので、改良の進み具合(適正な交配がなされてきたか等)が分かります。

詳細は、岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475)小園までお問い合わせ下さい。